

ちょっと
言わせてはいよ

第二の故郷—熊本



▲アメリカ・ドイツの国際交流員と
火の国まつりに参加

熊本での生活もあと2ヶ月間、着たばかりのどきどきの私が目の前に浮かんできました。去年の4月、国際交流員として来熊しました。4月の熊本は、予想より暑い、そしてその蒸し暑さは私の住んでいた中国の南寧市とほぼ同じです。日本は海に囲まれて、海洋性気候ですから、熱帯気候みたいな暑さは考えられませんでした。熊本空港から出て、きらきらする太陽を見た時、熊本の情熱を強く感じて、ファイトが溢れてきました。火の国まつり、山鹿灯籠祭りなどのイベントに参加して、活気と情熱に満ちた町の雰囲気はとても、印象深かったのです。しかし、今は真冬の時期で、今年は寒気の影響で、熊本市内も大雪が降りました。中国南部の生まれ育ちの私にとって、いつまでもの憧れです。雪を鑑賞しながら、ゆっくり温泉に入るというシーンは映画によくありますが、実際に体験してみて、感動の気持ちで胸いっぱいでした。夢みたいと言っても過言ではありません。

異文化理解は決して簡単なものではありません。中国人と日本人は顔つきも、あまり変わりませんし、漢字を共有していますし、それだけに、中味も簡単にわかるように思っていますが、そうはいかないのです。特に表に表れない中味—意識や考えかたなど、日本と中国の間には、かなりの違いがあります。日本に来る前、7年前の短期間来日した経験を踏まえて、単に言葉が通じれば、何でも理解できるだろうと甘く思っていました。それは大間違いです。その失敗談を紹介しましょう。ある日本人の若い女性と年齢についての話でした。「君は1983年生まれなら、ブタ年だね」と尋ねま

したが、相手は話を聞いて、突然に嫌な表情に変わってしまいました。ブタ年は日本ではイノシシ年だと知らない私の言動で、誤解を生じてしまったのです。どうも人間は自分の習慣や考え方で、他のものを律しようとするものらしいです。その土地の文化、習慣、それに礼儀作法を理解できないと生活と仕事もスムーズにいかないと深々と実感しました。

熊本での一年間を振り返ってみると、私はいろいろなことを学び、体験したと思います。その中でも、意義があったと思うのは人は一人で生きているのではなくて、多くの人達に支えられて生きているのだということがわかったことです。文化の違いがあるからこそ、交流と理解は必要になるのでしょうか。私は外国人として、日本の文化と習慣がわかるように努力しなければなりません、日本の人々に中国の文化や習慣を理解してもらうように、頑張らなければならないと思います。今後も異文化理解の面白さを一人でも、多くの方に知ってもらい、中日の交流と理解に微力な力で頑張りたいと思います。「草の根の交流こそ真の交流である」ことを確信しています。

中国国際交流員 陳 展



▲学校訪問で中国の紹介をする陳さん

<http://www.openhouse05.com>

「話せる人になる」にこだわりを持って。

○英会話コース ○ビジネス英語コース ○スペイン語コース ○子ども英会話コース

GroupLesson	■1クラス:3~8名 ■1レッスン:75分	¥9,450	FreeStyle	■1クラス:1名~ ■1レッスン:30分	11回受講券 ¥5,000
SemiPrivate	■1クラス:2名 ■1レッスン:50分	¥16,800	FreeTalk	在校中の生徒様専用 スキルアップレッスン	4回受講券 ¥5,880
PrivateLesson	■1クラス:1名 ■1レッスン:50分	¥21,000	出張コース	■1クラス:1名~10名(交通費別途料金) ■1レッスン:60分	¥10,500



Open House Language School
オープンハウスランゲージスクール

☎096-327-2776

〒860-0845 熊本市上通町5-6村上屋ビル3
E-mail:info@openhouse05.com

●大谷楽器 ●上通リ郵便局
メガネの大宝
村上屋ビル3F
びなづね熊日会館
ホテル日航熊本